

第 12 回 企業の存続・再生はまず自社の徹底分析を

時代の変化に、マーケットの変化に対応できず、企業存続が問われる企業関係者の方にお会いして感じることは、自社の力を評価・分析できずいたずらに走りまわることが多いことです。己を知り敵を知るは孫子の兵法にあるように策を考える上で基本中の基本です。

評価・分析といっても難しい話ではないのです。ただ大事なことは素直に私情に囚われず客観的に過去の経緯を踏まえた上で現状分析をし、存続・再生のできる道を未来に向けて描ききれるかです。力不足であれば外部の力を利用されることも意味あることです。

国の中小企業施策も変わりつつあり、意欲ある中小企業に対してはいくつも支援策を用意されている時代です。

そのような施策・支援を利用されることも経費面ふくめ得ることが多いはずですが。ただ大事なことは、事をなすにまず経営者自らの意識改革、行動改革が不可欠であることをお忘れないように。

当社も 4 年目を迎え、来年はお互いに切磋琢磨する場として経営革新のための勉強会を希望者をつのり開催したいと考えています。多くの情報収集(例外はありますが、質は量に比例するものです)と人脈・ネットワークをつくる場になればとも思っています。